

# 千葉県職労 医療施設評ニュース

発行 千葉県医療施設労働組合  
〒260-8667 千葉市中央区市場町1の1県庁内  
Tel 043(223)4608 FAX043(224)5475  
メール kiriya@chibakensyoku.jp  
ホームページ http://www.chibakensyoku.jp/  
発行責任者 桐谷 加代子 2006.10.13号外

## 突然! 東金病院の病床6割削減 職員25%削減は認められない!

患者を守る  
雇用を守る

### 今日の病院交渉に参加を 一言 十六時 病院四階会議室

#### 再編案、決めたわけではない

・・・10月10日 病院局経営管理課長交渉結果・・・

組合の主張・要求	病院局回答
☆再編案は労働条件の変更で、交渉もなく一方的な提示に抗議する。	★11月を目処に検討の通知をした。収益の落ち込み、資金不足で経営がうまくいかない。収支に見あった体制、業務の見直しなどの検討を求めたものだ。今後、組合と話し合いたい。
☆11月からの病棟削減はするな。現業職員の14名全員配転、産科廃止による助産師の成東病院派遣などの、職員への個別面談を中止すること。	★11月に辞めてくれと指示していない。院長の現業職員をゼロにするとの説明は間違い。辞めると言ったなら行き違いで謝りたい。要望は伝えきちんと指示する。ただ、病院規模を縮小して異動等はあるかもしれない。
☆東金病院は維持・充実し医療を守るとの約束を反故にするものだ。再編案撤回を求める。	★検討の段階で東金病院と協議して進める。
☆病院幹部が交渉参加者の発言を問い詰めるなど組合干渉をやめること。	★そう言うことはない。分かりました。

一方的な労働条件変更は法律違反  
ルール違反の個人面談はやめる  
県病院局が通知した東金病院再編案が、突然職員への十分な説明もなく、患者・住民に一切知らせず、病床を六四%、職員の二五%削減など、十一月に強行されるようとしています。職員からは、「十一月に辞めろということか」「職員削減で患者の安全が心配」と不安と怒りの声が高まっています。

組合は、十月十日、県病院局経営管理課長と交渉。「交渉もせず、一方的な職員の労働条件の変更は労使ルール違反。成東病院への派遣などの個人面談をやめろ」と強く抗議しました。牧野課長は、「現業職員ゼロは間違い。院長が辞めると言ったなら謝りたい。要望は伝える」と病院の拙速な対応を認める回答。

病院充実の約束はウソだったのか  
組合は、「病院を維持・充実し医療を守るとした約束を反故にするものだ」と再編案の撤回を求めました。課長は「病院からの検討結果を待つて決定する。規模縮小はあるかも知れない」と再編案を強行する姿勢を示しました。

**再編案撤回、東金病院の再生を**  
組合は、医師不足・経営悪化は、県や病院局の責任であり、職員や患者を犠牲にした問答無用の再編案を認めるわけにはいきません。自らの雇用と患者・地域医療を守るために、再編案撤回、医師確保・東金病院再生を求め、組合に加入して運動しましょう。



病院局に再編案撤回を迫る交渉参加者（右）

「患者の安全が心配です」  
・・・職員の声を聞いて・・・

- 放射線科は六名を四名に削減。十一月にも予約患者がいるのに、職員がいらないから検査ができないとは言えません。どうするのか。
- 検査は、二重チェックが原則です。職員削減で患者の安全は守れません。十六時間労働で、今でも休憩が取れません。看護師がもっと削減されたら医療事故が心配です。
- 県立病院で助産師をしたくて入ったのに、産婦人科の病棟閉鎖で看護師に変われというのでしょうか。

#### 職場集会開催

10月17日（火）18時  
東金病院会議室